

キャラクター名
上条 敬士郎(かみじょう けいしろう)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ハヌマーン		ワークス	何でも屋	カヴァー	ジャーナリスト
	オプショナル		年齢	35	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	31 %	
出自	複数の兄弟がいる	経験	海外生活	邂逅	保護者：霧谷雄吾	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	1	1	0			2	行動値	8
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	8
精神	4	0	2			6	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：	2		情報：噂話	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナックルダスター		0		1		
59)1+2+3+武器「音速の一撃(シュネルプロ)」	白兵	9r+2				C値8/単体/コスト6/攻+1
60)1+2+3+武器「音速の一撃(シュネルプロ)」	白兵	10r+2				C値8/単体/コスト6/攻+1
80)1+2+3+武器「音速の一撃(シュネルプロ)」	白兵	11r+2				C値8/単体/コスト6/攻+1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：情報屋	
コネ：噂好きの友人	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
弟	P 純愛	N 嫉妬		
霧谷雄吾	P 信頼	N 偏愛		
海外の友人	P 親近感	N 劣等感		
景見市	P 好奇心	N		
星降夜仁	P 同情	N 疎外感		
アダム	P 連帯感	N 無関心		
坂月	P 連帯感	N 不信感		

最大財産P: 6 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンソレイト	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果： C値-Lv(下限7)								
コントロールソート	1	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果： <白兵>を【精神】で振る								
音速攻撃	3	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果： 攻ダイス+Lv								
ラストアクション	1	5	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果： 戦闘不能時にメインプロセスを行う								
戦術	4	6	セットアップ	視界	選択	自動	-	
効果： 対象はダイス+Lv個(ラウンド中)								
無音の空間	★	-	Xジャー	視界	単体	自動	-	
効果： 自らの気配を遮断								
写真記憶	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果： 一度目にしたものは忘れない								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

UGNイリーガルの何でも屋。表向きはジャーナリストとして世界中を飛び回りつつ、裏ではレネゲイドに関する情報収集や事件解決に努めている。

過去に家族がオーヴァードに襲われる事件に巻き込まれた際に能力が覚醒。オーヴァードになった彼はUGNに保護され家族と離れて暮らすことになった。しかし組織に属することが性に合わなかったため、数年前にUGNを離れ現在はイリーガルとして活動している。自身の能力が覚醒した事件の際に弟が大怪我を負い、現在も後遺症に悩まされている。レネゲイドウイルスについて調べることで弟のような被害者を減らせないだろうかと考えており、少しでも多くの情報を欲している。

戦闘スタイルは音速の拳で相手を殴打。レネゲイドは護る力と同時に傷つける能力であることを忘れないために、武器は自分の拳を使用している。

景見市はオーヴァードがいない街と聞き、そこでなら弟たちは幸せに暮らせるかもしれないと思い調査に赴く。

 ▼参加シナリオ
 2018.09.23 『Mirage Link(ミラージュリンク)』PC3
 経験点：13

 蛇足
 景見市の一件後、上条は「気が向いたらここに連絡をくれ」と星降に名刺だけ渡して立ち去った。どこかで弟と彼を重ねて見ていたのだろう。